

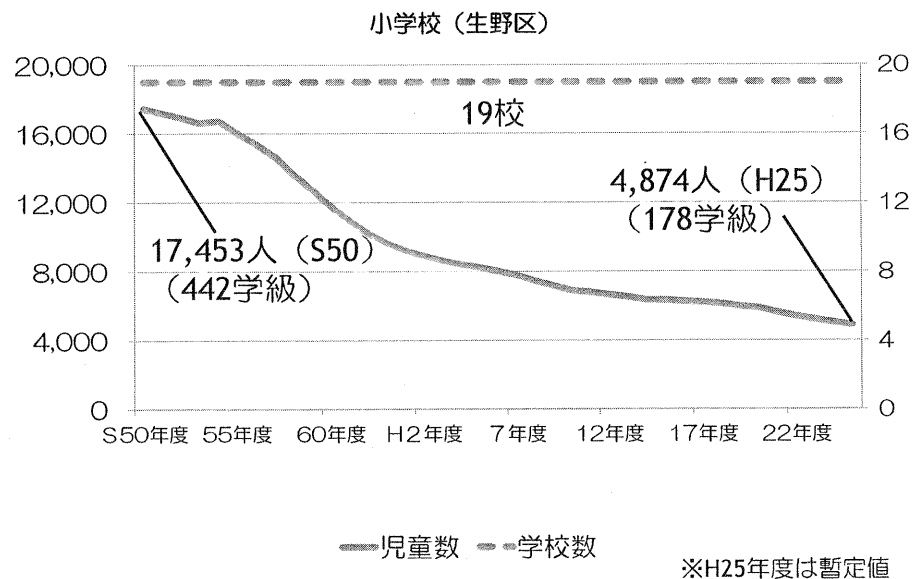
課題2

児童生徒数と学校・学級数



13

2-1 児童数と学校・学級数



14

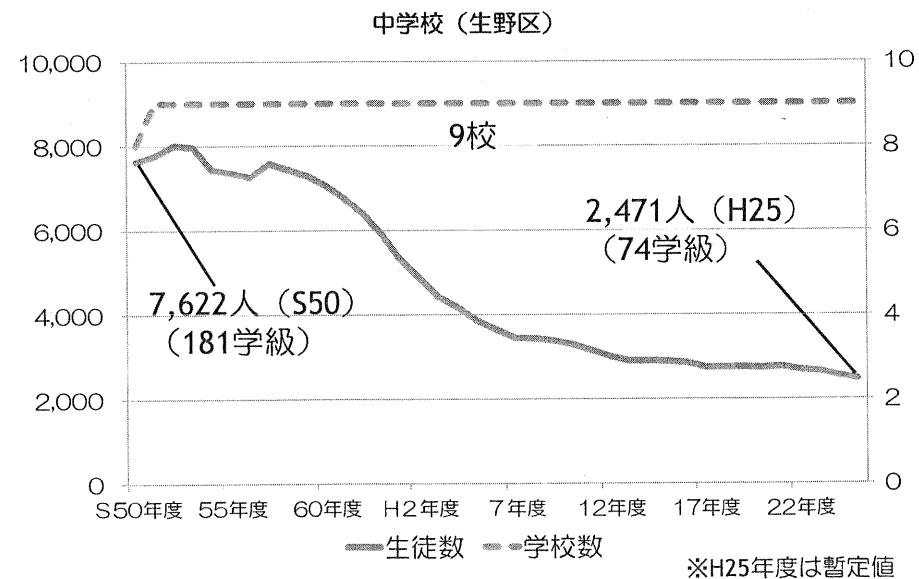
2-2 生野区の現状（小学校）

	昭和50年度	平成25年度	増減
児童数	17,453人	4,874人	↓ -72%
学校数（分校含む）	19校	19校	→ ±0校
学級数	442学級	178学級	↓ -60%
1学年あたりの学級数	3.8学級	1.5学級	↓ -2.3学級

※H25年度は暫定値

15

2-3 生徒数と学校・学級数



16

2-4 生野区の現状（中学校）

	昭和50年度	平成25年度	増減
生徒数	7,622人	2,471人	 -68%
学校数（分校含む）	8校	9校	 +1校
学級数	181学級	74学級	 -59%
1学年あたりの学級数	7.5学級	2.7学級	 -4.8学級

※H25年度は暫定値

17

2-6 小規模校のメリット（審議会答申より）

学校としてまとまりやすい

家庭との連携が図りやすい

19

2-5 小規模校とは

大阪市学校適正配置審議会

答申

小規模校：11学級以下の小学校

18

2-7 小規模校のデメリット（審議会答申より）

人間関係が固定化する傾向がある

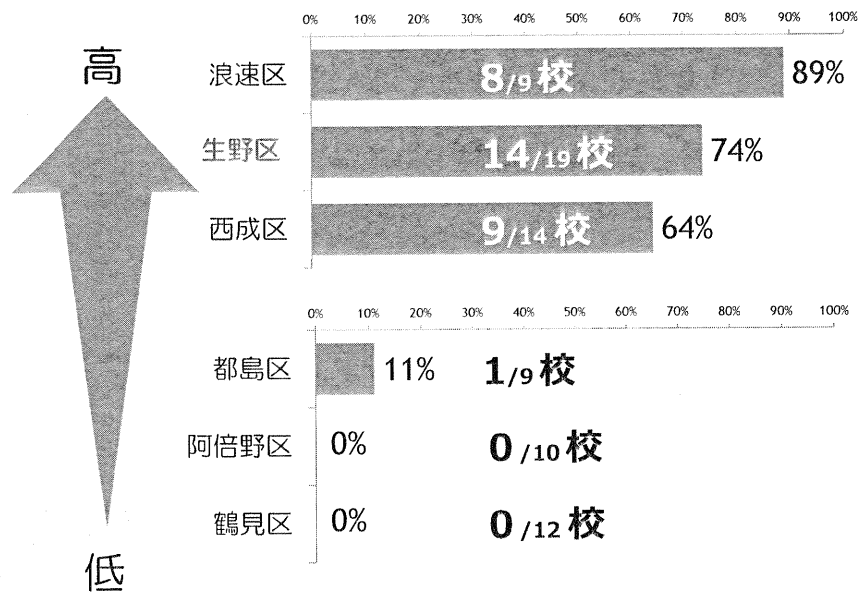
教育活動の幅が狭くなる

児童会活動の負担が大きくなる

教職員数が少なく、指導方法の高め合いができない

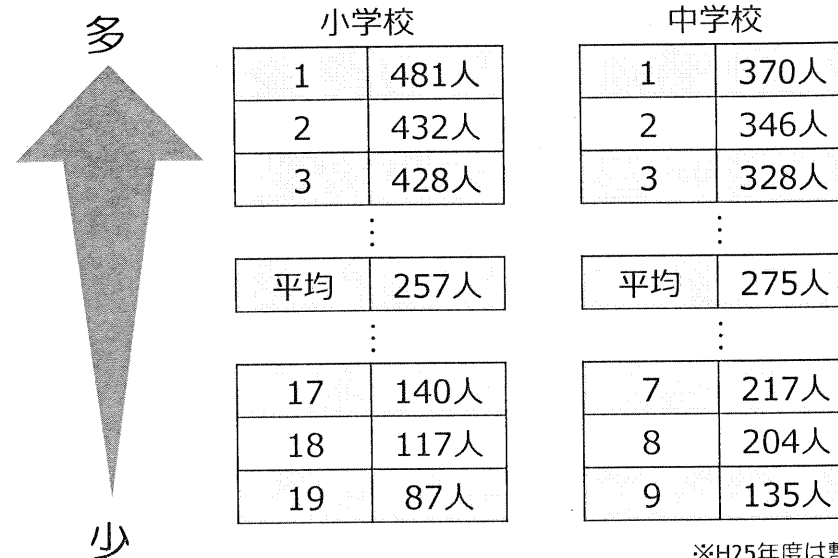
20

2-8 小学校における小規模校の比率（平成21年度）



出典：最新（平成22年度）大阪市学校適正配置審議会答申 21

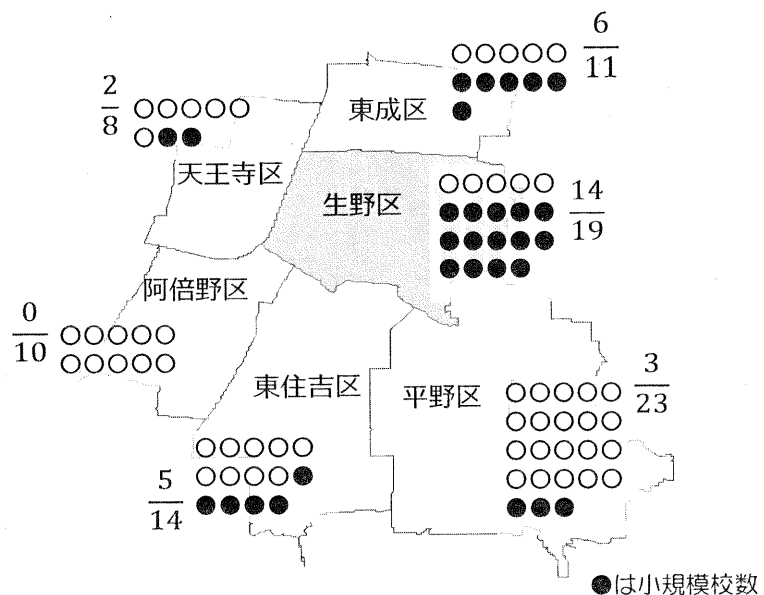
2-10 生野区の学校別児童生徒数（平成25年度）



※H25年度は暫定値

23

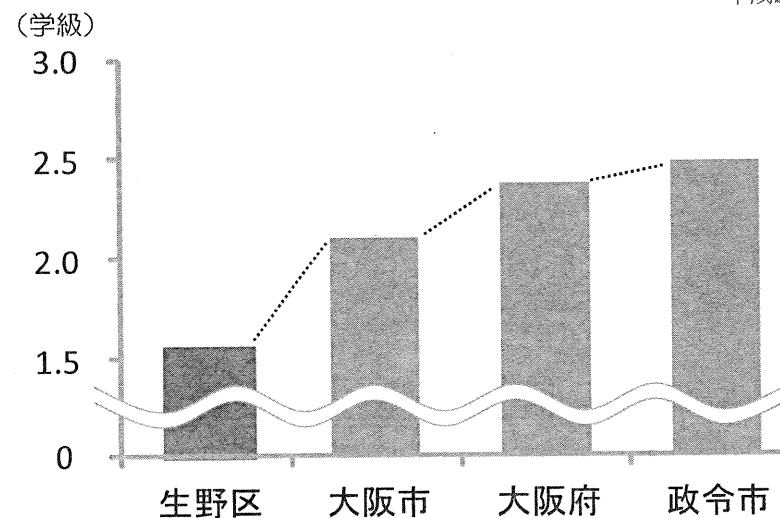
2-9 周辺区の小規模校の状況（平成21年度）



出典：最新（平成22年度）大阪市学校適正配置審議会答申 22

2-11 小学校の平均学級数（1学年あたり）

平成24年度



24